

28K-pm10

地域医療でのファーマシューティカルケアの実践を目指し ～Web 会議システム
を利用した e-ラーニング～

○仲鉢 英夫¹, 大森 俊和¹ (¹湘南鎌倉総合病院薬)

【背景】当院は離島僻地を含め 72 病院を全国に展開する医療グループの病院である。薬学教育の 6 年制移行、診療報酬改定などにより社会から病院薬剤師に求められるニーズが多様化されている一方、薬剤師不足に悩まされている。我々は地域医療に貢献する事を第一の基本理念に掲げており、人員不足の病院に対し薬剤師は業務応援をローテーションで行うことで病院機能を維持している。ファーマシューティカルケア（患者の QOL を向上させる確実な結果を目的とした責任ある薬物治療の提供）の実践に向けての薬剤師教育が必要であるが、都市部や急性期病院では薬物治療を学ぶ機会が多いものの、離島僻地では学ぶ機会に限りがあるのが現状である。今回その問題点を解決するために、当グループが導入した Web 会議システムを利用した e-ラーニングを報告する。

【方法】当院薬剤部で実施している症例検討・勉強会（月 2 回）を、Web 会議システム Live On[®]（ジャパンメディアシステム社）を利用して、離島僻地のグループ病院に配信し e-ラーニングを開始。使用するテキストは Web 上で共有し、講師の様子を画像で確認しながらの形態である。音声は集音マイク、ヘッドホンマイクを利用して相互にやり取りが可能である。

【結果・考察】初回は取扱に不慣れであったものの、病態の基礎から薬物治療の検討まで学ぶための有用なシステムであることが確認できた。時間の有効利用、交通費等の経費が不要、グループ間であるため気軽に参加し意見交換が可能などのメリットも感じられた。実臨床への応用は今後の課題であるが、グループのみではなく薬業連携にもこのシステムを活用し、急性期病院から慢性期病院まで相互に配信し、ファーマシューティカルケアの均てん化が図れたらと考えている。